

福祉施設利用者の一般就労への移行等に関する目標

(単年度数値)

項目	目標値の考え方	平成29年度 目標値	平成27年度		達成率の状況
			実績	達成率 / × 100	
就労移行支援事業及び就労継続支援事業の利用者の一般就労への移行	福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業及び就労継続支援事業を通じて、平成29年度において一般就労に移行する者の総数を数値目標とします。	198人	89人	44.9%	平成27年度に企業等に就職した障害者585件について、精神・発達障害者や特別支援学校卒業生など、福祉施設を利用せずに一般就労に至るケースが増えているため。
公共職業安定所におけるチーム支援による福祉施設利用者の支援件数	就労移行支援事業者等と公共職業安定所との円滑な連携を促し、福祉施設の利用者のうち、平成29年度においてチーム支援を受けた件数を数値目標とします。	40件	55件	137.5%	新規就職者のうち、大半がハローワークにおけるチーム支援を受けられる環境が整っているため。
障害者の態様に応じた多様な委託訓練事業の受講者数	平成29年度において、福祉施設から一般就労へ移行する者のうち障害者委託訓練の受講者の総数を数値目標とします。	32人	18人	56.3%	平成27年度になって有効求人倍率が1倍台になるなど、雇用情勢が緩やかながら回復してきた影響により、訓練を受講しない就職者が増えたため、進捗率が低くなった。
障害者トライアル雇用事業の開始者数	平成29年度において、福祉施設から一般就労へ移行する者のうち障害者トライアル雇用事業の開始者の総数を数値目標とします。	20人	49人	245.0%	一般就労へ移行する者の大半が障害者トライアル雇用事業の対象となる環境が整っているため。
職場適応援助者による支援の対象者数	平成29年度において、福祉施設から一般就労へ移行する者のうち職場適応援助者の支援を受けた者の総数を数値目標とします。	20人	13人	65.0%	福祉施設を経ずに直接、企業等に就職する障害者の比率が増えたことにより、職場適応援助者の支援対象者数が減少したため。
障害者就業・生活支援センター事業の支援対象者数	平成29年度において、福祉施設から一般就労に移行する者のうち障害者就業・生活支援センターによる支援を受ける者の総数を数値目標とします。	198人	89人	44.9%	一般就労へ移行した者の全員が障害者就業・生活支援センターによる支援を受けているが、福祉施設を経ずに直接、企業等に就職する障害者の比率が増えたため、進捗率が低くなった。